

マチ山の教室

マチの中にある山の中の学びの拠点

立田山の日々の暮らしをサポートする場として、
目的がなくとも皆が立ち寄りたくなる
地域活動の情報と学びの拠点としてのトイレを提案します



既存トイレに寄り添い、立田山の新しい顔を作っていく屋根付き屋外広場
お祭り広場や道路から特徴的な屋根がみえ、トイレの場所を示す

1 立田山の「学びの拠点」となる屋根付き屋外広場

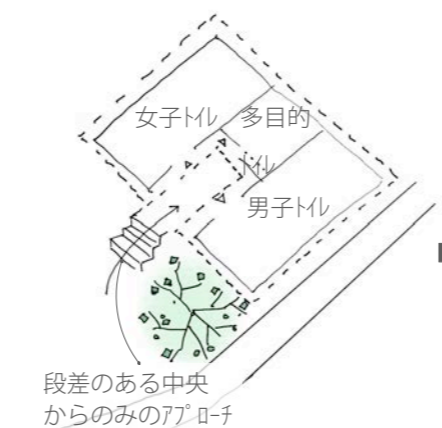
周辺地域を観察すると、多彩な環境に恵まれながら、木材や石材など豊かな資源を知ることができます。この計画では地域の資源をどのように活用していくかをみんなで考え、学びの拠点の提案です。



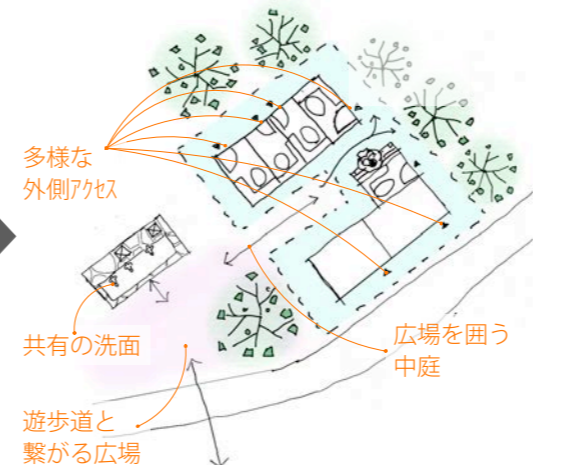
2 既存建物を活用したあたらしいトイレ

地域の資源である既存のトイレをみんなで改修し、地域の資源を更新して使い続けていく計画をおこないます。

■更新前：段差のあるアプローチ

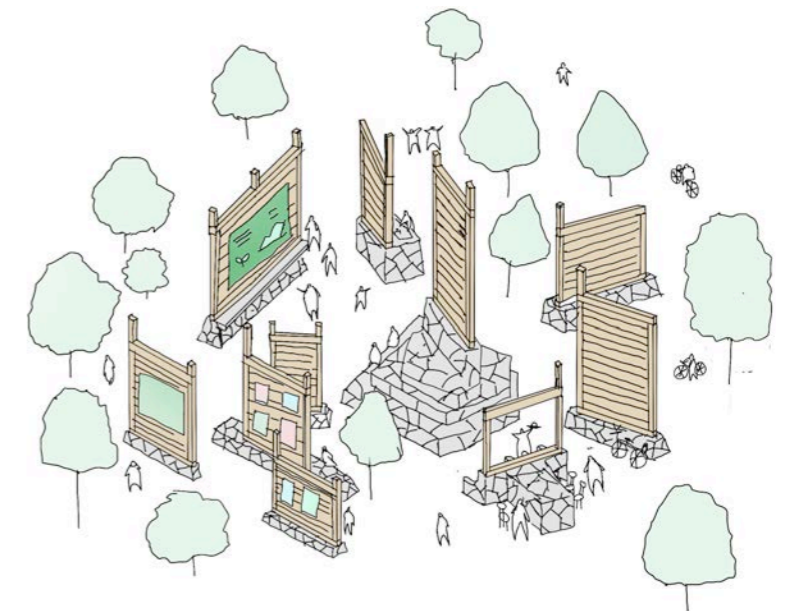


■更新後：バリアフリーを考慮したアプローチとフレキシブル活用のできるトイレ

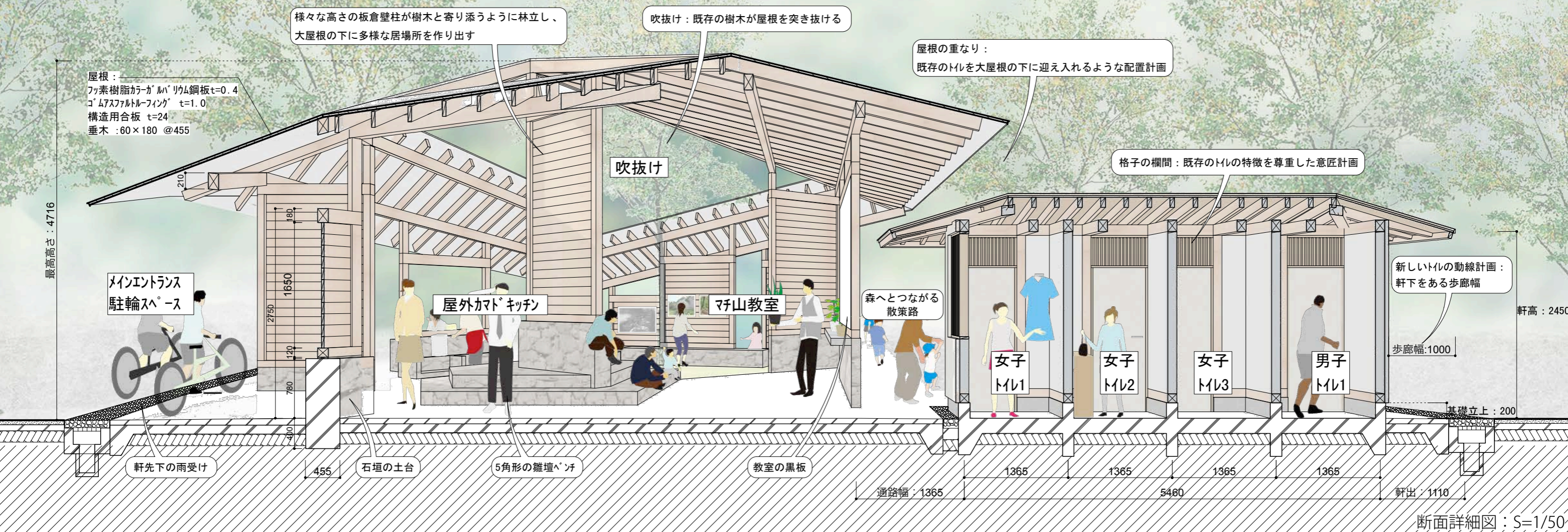


3 みんなで作る「板倉構法」の壁柱

豊富な資源(木材)を活用できる地域伝統の「板倉工法」を活用し、みんなで計画、施工、運営を計画します。

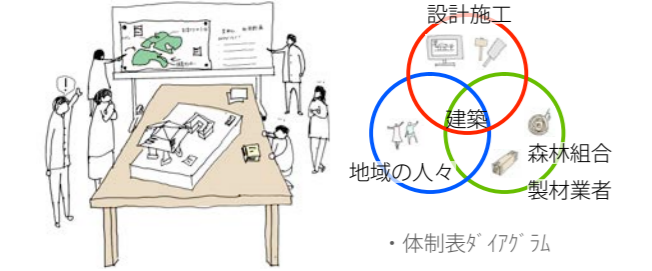


既存トイレを生かし、みんなで考える設計・建設計画

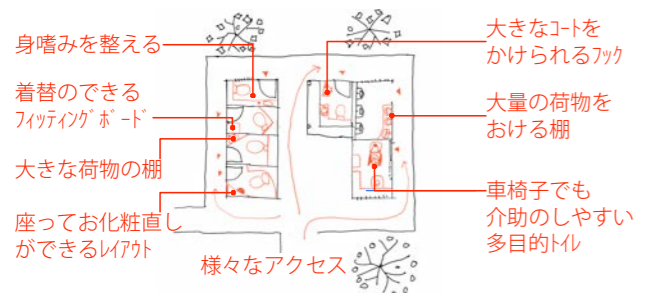


設計中のプロセス

【作る会議】：地域の技術や工法をどのように設計に組み込むか考えます

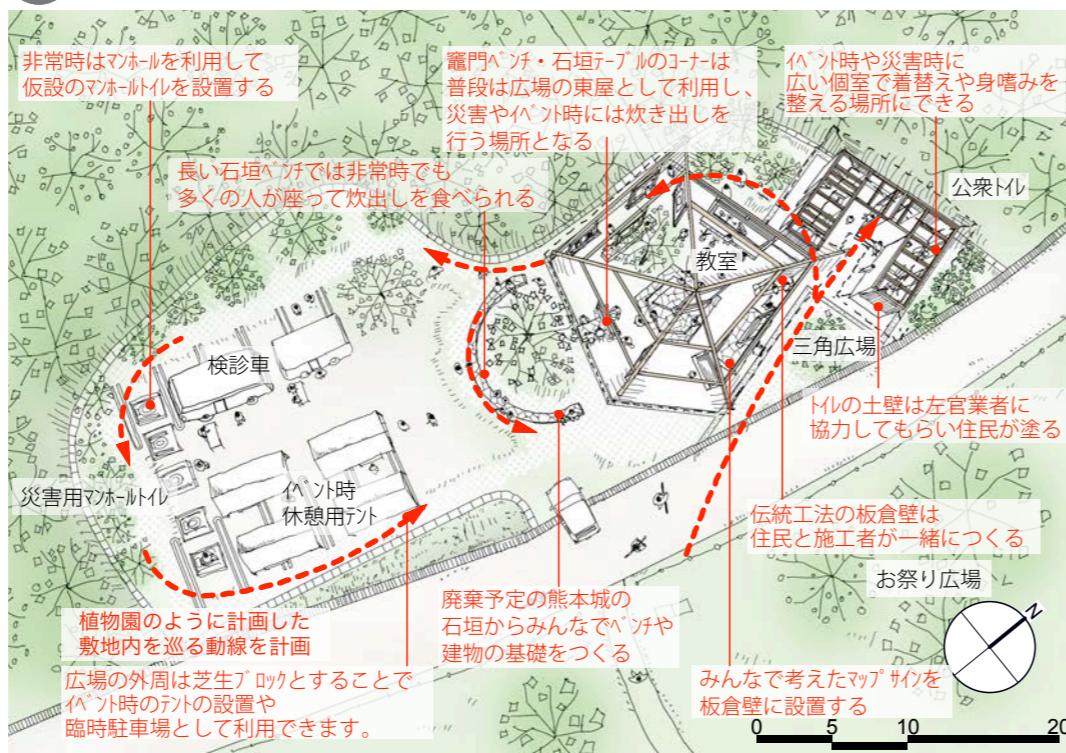


【使う会議】：完成後の使い方をみんなで考えます

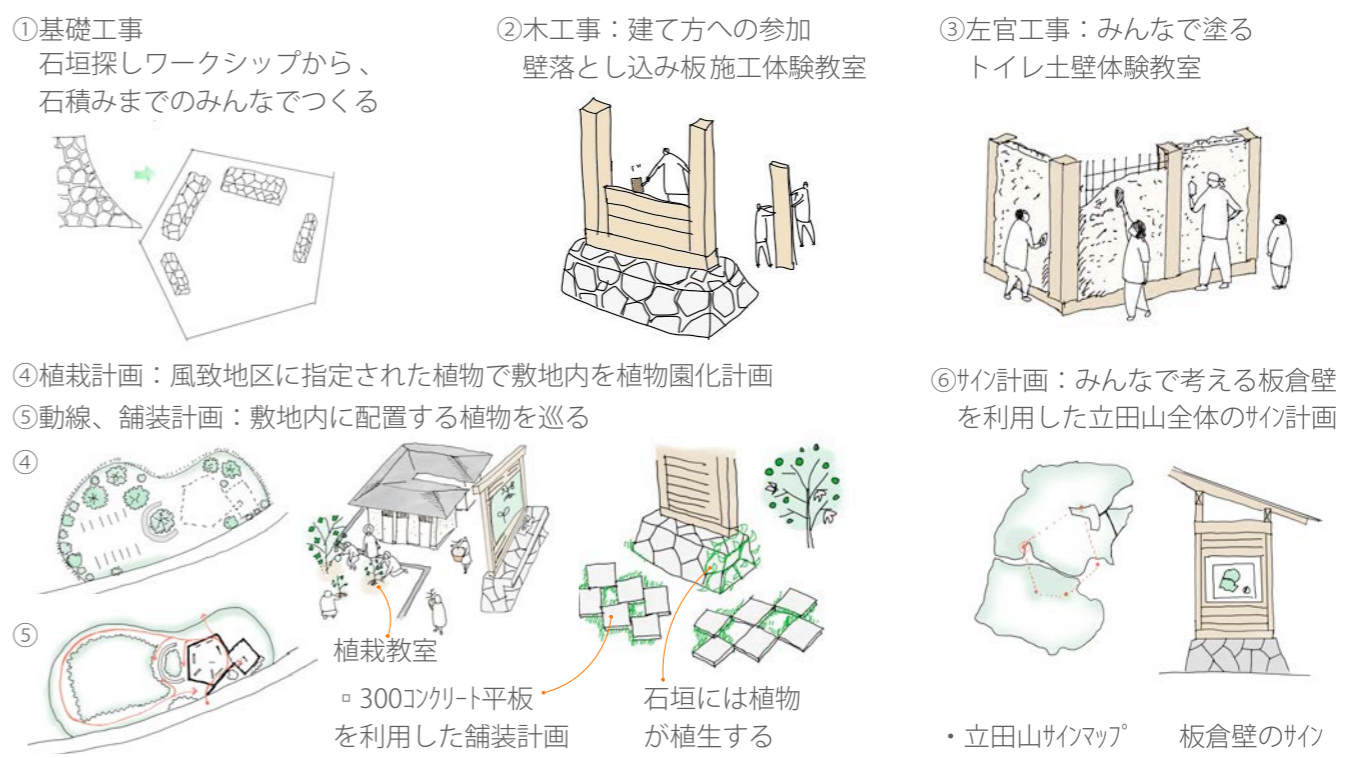


【トイレ会議】：これからの「トイレ」のあり方を議論します

6 設計から完成後まで、みんなでつくってみんなで使う



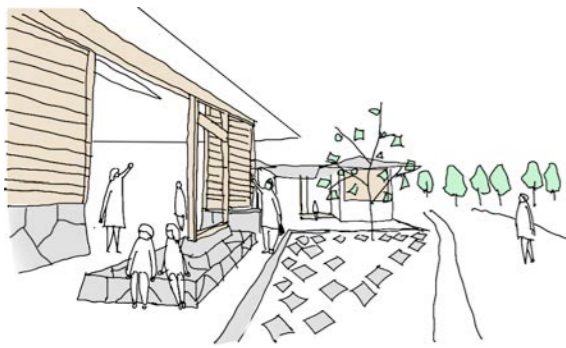
工事中のプロセス



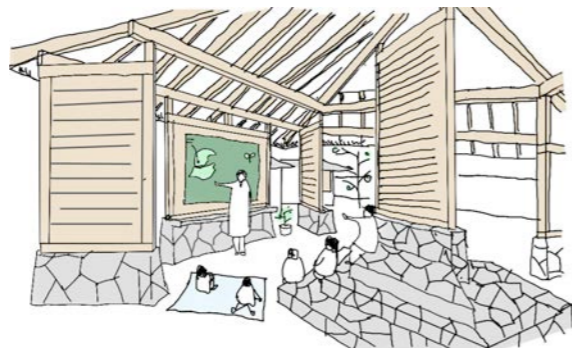
板倉壁が支える大きな屋根のかかった多様な半外部空間



三角教室を見通す 独立した板倉壁柱が小屋組を支えてゆるやかにスペースが分けられる
壁柱の基礎は熊本城の石垣を利用してベンチや机などが設えられ、訪れる人の活動をサポートする



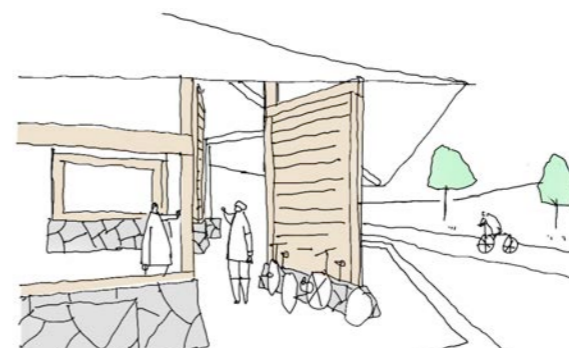
「三角広場」はお祭り広場と連続した開かれたスペースです



「三角教室」は日常的に使われる学びの場となります



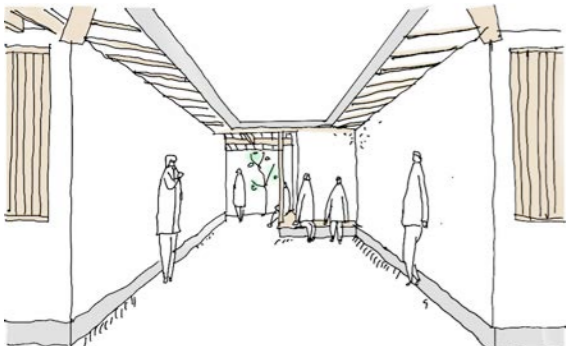
「マチ」の活動が見える板倉壁を利用した展示



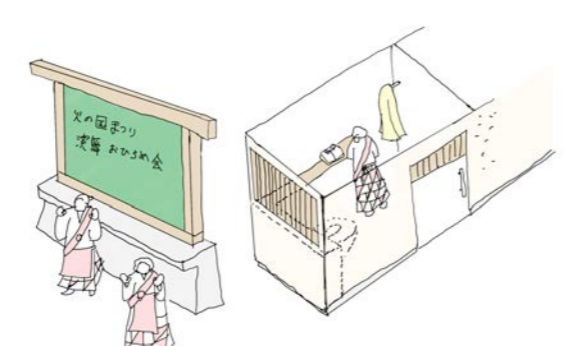
屋根下の自転車置き場 サイクリストたちも集まります



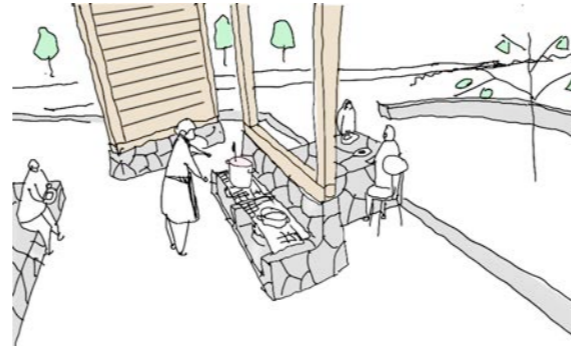
駐車場を含めた散策路 気軽に訪れたいくなるスペース



既存トイレの中庭 回遊できる明るい待ち合いスペースです



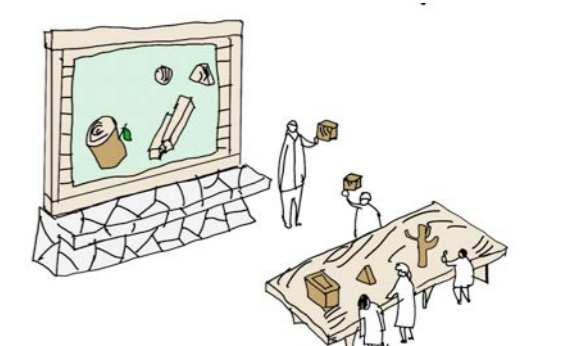
イベント時はトイレを控え室として利用できます



災害時の避難の拠点としても使えるカマドスペース



一時避難所として情報の掲示スペースとして利用できます



「木育」教室にも使いやすい屋外の屋根付き広場スペース